



機種名: **バットマン**

(エレコ)

導入予定日: **2014.10.5~**



**1店舗あたりの
設置予測**

予測設置台数:

4台

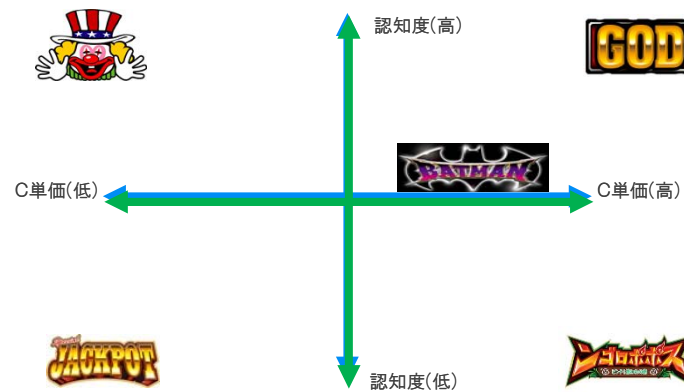
推奨設置台数:

バラエティ

Schedule

日付	機種名	販売予測台数
10/5	バットマン	20,000台
	バーストエンジェル	-
	ブラックラグーン2	-
	旋律のストラタス	-
10/19	スーパービンゴNEO	30,000台
	シンデレラブレイド2	20,000台
	さきみさん@がんばらないすろっと	-
	修羅の刻	-

Positioning-Map



Comment (機種背景)

アメリカンコミックスでは知らない人はいない著名コンテンツ。アニメ化、実写映画化は幾度となくされてはいるが、日本では洋画としての認知が深い。平和から2度パチンコ機化はされているが、パチスロ機化は当機が初。

Comment (仕様説明)

GOD系だけに偏らず、ARTを捨てず、また、技術介入要素であったり、自力押し順当てといった遊技者参加の遊技性を追い求めるアルゼの姿勢はもっと評価されても良いと思うが、当機の「上乘セレクト」は「無理ゲー」とまでは言わないまでもエスパー級(笑)。また、透過ブラックリールだけにバットマンマークを狙うのも上級者でなければなかなか至難。ほぼ毎ゲーム時に液晶上に演出があり、また、「上乘セレクト」でボタン操作を強要しているにも関わらず小さめの文字表示であったりと、高齢者にはまったくもって不向きな遊技性。ボタン操作に慣れるまで設置されているかがポイント??

試打レポート

まず映像面に関してだが、クオリティの上がったデビルマン+スパイダーマンと言えば分かりやすいだろうか。3D映像を採用しているが、最近の機種「鉄拳3rd」のような流麗さには届かないものの、原作がアメリカンコミックスという事で違和感を感じることはないと言えそう。

肝心のシステム面に関してだが、通常時はレア役とCZの二種類からART当選に期待できる構成となっており、特にCZからのART突入期待度は最低でも50%以上、また90%以上の期待感を有したCZを搭載している為、その期待感自体は試打時にも十分に感じることができた。そもそものART初当たり確率自体が1/168~1/264と比較的軽めの部類に入るため、期待度の高いCZを搭載していても何ら不思議ではないし、言い方を変えると特別感もない。

通常時においても一つ注目すべき点は、BIGボーナス確率が約1/8000に設計されていること。試打時には確認する事は出来なかったが、ユニバーサル系の機種ということもあり、通常時のBIGに関しては「ミリオンゴッド」のGOD揃いの様なイメージを抱く。

次にART中だが、こちらは今までにない斬新なものを採用している。その代表として挙げられるのが「上乘セレクト」だろう。こちらは発動した際に最大15個の宝箱から自らの手で一つを選択し上乘せゲーム数を決定するというもの。さらにはその宝箱の内一つは必ず3桁の上乗せが存在する為、最低でも1/15で3桁上乗せが発生する。昨今の機種に比べてもかなり期待感を抱ける部類のシステムに入るのではないだろうか。その他にも、その上乘せセレクトのストックを高確率で獲得できる「クレイジージョーカーバトル」と言った特化ゾーンまでも存在する。他にも通常時では約1/8000だったBIG確率が約1/400まで上昇しているなど、勿論恩恵自体は通常時に成立したケースとは異なるのであろうが、そういった要素全てを含め出玉感の部分では最近の機種にも見劣りすることもなさそうだ。

懸念材料としては、仕様説明の部分にも表記しているが「上乘せセレクト」での停止ボタン操作による遊技性の問題。チャンスアップパターンで全ての宝箱の内部が確認できている状態で箱を選択するケースもあり、その時に間違えてセレクトした場合は大きな損をしてしまう。高齢者は勿論のこと、何かの拍子でミスした場合の怒りはとてつもなく大きいものになると予想できる。

この上乘せセレクトが本機のウリとも呼べる部分であるのは間違いないことから、現在の市場でどう受け止められるかは楽しみどころである。